

【件名】

中野区ユニバーサルデザイン推進計画（第2次）案について

【要旨】

中野区ユニバーサルデザイン推進計画（第2次）（以下、「推進計画」という。）の素案について、意見交換会等を実施し、以下のとおり推進計画案を作成したため、報告する。

1 意見交換会等の実施結果

(1) 意見交換会

日時	会場	参加者数
10月21日（土）10時～	中野区役所	0人
10月24日（火）19時～	野方区民活動センター	4人
計		4人

(2) 意見募集

件数0件

(3) 関係団体等からの意見聴取

団体数：25団体（集会形式7団体、電子メール等18団体）

(4) 推進計画素案に対する主な意見の概要及び区の考え方

別紙1のとおり

2 今後の予定

令和5年12月 推進計画案について議会報告
令和5年12月～令和6年1月 パブリック・コメント手続きの実施
令和6年 3月 推進計画策定

3 その他

推進計画案に記載している「有識者等による評価・点検」について、令和6年1月に区役所新庁舎において試行実施する。

「中野区ユニバーサルデザイン推進計画（第2次）素案」に対する
主な意見の概要及び区の考え方

番号	意見の概要	区の考え方
第1章 計画の基本的な考え方		
1	「社会情勢」及び「国・東京都の動向」に東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する文章がなく、なぜユニバーサルデザインや心のバリアフリー等の新しい考え方が生まれて活用されるようになったのか分からない。	ご意見の主旨を踏まえ、記述を見直した。
第2章 ユニバーサルデザインの考え方		
2	バリアフリーの説明で「多様な人々」という言葉を使うことで最もバリアフリーが必要な障害者や高齢者が薄れてしまっている。最近ではバリアを障害者だけでなくあらゆる人の障壁と定義することを見かけるが、その結果、大半の人は使えるが車椅子では使えない設備が生まれている。	ご意見の主旨を踏まえ、記述を見直した。
3	従来「障害の医学モデル」から「障害の社会モデル」の考え方になることが大切であるが、「医学モデル」の説明がなく「社会モデル」についてしか記載されていない。	ご意見の主旨を踏まえ、記述を見直した。
4	ユニバーサルデザインの7原則の「公平性」でノンステップバスを例としているが、相応しくない。海外のノンステップバスは誰でも公平に利用できるが、日本のノンステップバスは車椅子の人の乗降時にしかスロープを出さず、同様のニーズのあるベビーカー、歩行困難者、高齢者はステップを上り下りする必要がある。	ご意見の主旨を踏まえ、記述を見直した。
5	これまでセクシュアルマイノリティは様々な社会的障壁に直面してきた。したがって、障害は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」の考え方は、セクシュアルマイノリティにも適用できるものであって、賛成できる。	「障害の社会モデル」の考え方を浸透させ、ユニバーサルデザインの推進に取り組んでいく。
第3章 計画の展開		
基本理念 ハード		
6	区民意識・実態調査で、ユニバーサルデザインの認知度は高いが、理解度は低い。区として中野駅周辺をモデル地区のように進める考えはあるか。	中野駅周辺を含むすべてまちづくりにおいては、機会を捉え適切にユニバーサルデザイン推進条例及びバリアフリー基本構想の理念等に則りまちづくりを進め、併せてその整備について適切に周知を図っていくことがこれらの理念等を広めることに繋がると考えている。

番号	意見の概要	区の考え方
7	「ピクトグラムや多言語化等を進めます」という表記に、「音声案内等耳からの情報伝達方法」を加えることを提案する。耳からの情報伝達方法は既にあるので、さらに増えることが望ましいと考える。都営大江戸線では、上り電車の案内は男性の声で、下り電車の案内は女性の声と、言葉が聞き取れなくてもわかるようになっている。	音声案内等耳からの情報伝達方法について検討していく。
8	区役所新庁舎には、多機能トイレに横型のユニバーサルシートをいれてほしい。	ユニバーサルシートは区役所新庁舎の1、2、3、4、10階に設置する。ユニバーサルシートの設置方法等は検討を進めていく。
9	区役所新庁舎では、容量だけでなく、間口が1メートル以上の大きいエレベーターを設置してほしい。エスカレーターとエレベーターの分散利用を周知してほしい。	間口が1メートルのエレベーターを設置する。エスカレーターとエレベーターの分散利用の案内を検討する。
10	区役所新庁舎では、エレベーター前に何階のトイレが使用中かわかる表示があると、そこに向かう前にトイレの状況がわかって良い。	使用状況が分かる機能については予定していない。混雑を避けるため、区役所新庁舎では多機能トイレをB1～11階の各階に設置する。
11	区役所新庁舎では、オストメイトの機能別トイレを設置してほしい。	区役所新庁舎では、オストメイト対応の多機能トイレを庁舎内に5か所設置する予定である。必要な人が使えるようにするための案内について検討する。
12	多機能トイレは、一般トイレが混雑していると健常者が利用することも多い。区役所新庁舎では、必要な人が利用できるように徹底してほしい。	必要な人が使えるようにするための案内について検討する。
13	区有施設づくりに関して、ユニバーサルデザインとしてつくっても違うことがあるので、評価・点検のしくみはぜひ実現してほしい。	評価・点検のしくみづくりの検討を進めていく。
14	トランスジェンダーの中には多目的トイレの利用を希望する方もいるので、区の公共施設において、多目的トイレの増設を一層進めてほしい。また、民間施設においても多目的トイレの増設が進むよう、区において改善を誘導してほしい。	多機能トイレに限らず、誰でも利用しやすい区有施設の整備・改修、利用しやすい民間施設の誘導・整備の支援に取り組んでいく。
基本理念 ソフト		
15	やさしい日本語の活用は良いが、災害時だけではない。町会や関連団体からの情報提供がある場合などにはやさしい日本語が非常に重要である。	ご意見の主旨を踏まえ、記述を見直した。
16	多言語通訳のためのタブレット端末だけでなく、やさしい日本語によるサービスの説明などが必要である。役所の文書はわかりにくいのが、やさしい日本語を用いると、高齢者や点訳時にもわかりやすくなる。	区職員によるやさしい日本語でのサービス説明等ができるよう、やさしい日本語の職員研修を引き続き取り組んでいく。
17	主な取組5-2の災害時の取組にもやさしい日本語をいれてほしい。	災害時にもやさしい日本語の活用を進めていく。
18	「多様な避難者」の中には同性カップルやトランスジェンダーもいるので、それを前提とした避難所運営の検討を進めてほしい。	避難者の中に同性カップルやトランスジェンダーがいることを前提とした避難所運営の検討を進めていく。

番号	意見の概要	区の考え方
19	Wi-Fiについて、警察施設や外灯等の施設を利用して整備すれば良いのではないかと思う。	Wi-Fiは、まち全体での整備ではなく、区有施設での整備を行う予定である。
20	手話通訳に関して、AIを活用した画像で手話通訳ができるシステムが開発されており、活用してほしい。	ご意見の主旨を踏まえ、追記した。音声テキスト変換してディスプレイに表示する等、最新のデジタル技術を活用しながら情報を得にくい人への支援を進めていく。
21	広報物について、ユニバーサルデザインフォントを使っていくような取組はあるか。	庁内でユニバーサルデザインフォントの使用を進めている。必要に応じて、中野区情報発信のユニバーサルデザインガイドラインの改定を行っていく。
22	区広報物の色の配慮はあるか。	色のユニバーサルデザインは、中野区情報発信のユニバーサルデザインガイドラインで定めている。
23	「やさしい日本語のガイドライン」に関して、広報物だけでなく、国民保険料などの通知類もやさしい日本語で発信してほしい。	ご意見の主旨を踏まえ、記述を見直した。関係所管との連携を行い通知類におけるやさしい日本語の普及を働きかけていく。
基本理念 ハート		
24	学校における人権教育の中に、性的指向や性自認に関する人権教育を行うことを明記してほしい。	人権教育は、性的マイノリティに関するものだけでなく、様々な人権課題について取り上げて実施している。
25	「LGBT等、配慮を要する児童・生徒に対して、一人一人に応じたきめ細かな支援を進めます。」とされていることについては大いに賛成である。	学校等におけるユニバーサルデザインの推進として、児童・生徒一人一人に応じたきめ細かな支援を進める。
26	「性同一性障害等に対する正しい理解と認識を深めるために、教職員に向けた研修等を実施します。」とされていることについては大いに賛成だが、「性同一性障害等に対する」の部分を「性同一性障害を含め、性的指向や性自認に対する」と、「性的指向や性自認」を明記してほしい。	「性同一性障害等」の表現を変更して記載する。
27	「多様性の理解と認識を深める研修等」の中に、性的指向や性自認等、性のあり方の多様性に関する理解と認識を深める研修等も含まれることを明記してほしい。	多様性の理解と認識を深める研修は、性的マイノリティに関するものだけでなく、様々な視点で実施している。
28	ディズニー等アメリカ企業の業績から見られるように、多様性に傾斜しすぎは収支にプラスは出ないと思われるので、差別をしない程度として事業を進めるべき。	中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例に基づき、すべての人が差別を受けることなく地域社会の一員として暮らせるまちの実現を目指した取組を進める。
29	ハイトスピーチに対しての取組は何かあるか。	人権週間パネル展で国のハイトスピーチ禁止に関するポスターを展示している。今後は区内の掲示板に貼るなど、区民が目にする機会を増やす予定である。
30	今後、外国人割合が増えていく見込みで、多文化共生は区のひとつの役割である。日本語教育、普及啓発についても区がしっかりと取り組んでいく必要があるため、表現を工夫してほしい。	ご意見の主旨を踏まえ、記述を見直した。
31	「性的少数者に対する理解促進のための取組」は大いに賛成であり、積極的に進めてほしい。	パートナーシップ宣誓の周知や、性的マイノリティに関する相談事業を実施していく。

番号	意見の概要	区の考え方
計画全体に関すること		
32	合理的配慮の記載がないのはなぜか。	ご意見の主旨を踏まえ、記述を見直した。

○意見の概要は、区分整理の関係から、提出された意見の分割や同趣旨の意見等の統合を行っている場合がある。また、個別性の高い意見については掲載を省略している。